

2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月14日

上場会社名 株式会社オカムラ食品工業 上場取引所 東
コード番号 2938 URL <http://www.okamurashokuhin.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO(氏名) 岡村 恒一
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役兼CFO(氏名) 橋本 裕昭 (TEL) 03-3666-2333
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	22,848	9.6	1,830	△34.6	2,041	△32.7	1,374	△33.4
2023年6月期第3四半期	20,855	-	2,799	-	3,033	-	2,063	-

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 1,645百万円(△23.3%) 2023年6月期第3四半期 2,146百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	178.07	172.83
2023年6月期第3四半期	306.36	-

(注) 1. 当社は、2022年6月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年6月期第3四半期の対前年同期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2023年9月27日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、2024年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年6月期第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	42,053	13,414	31.9
2023年6月期	30,111	9,968	33.1

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 13,414百万円 2023年6月期 9,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	-	-	270.00	270.00
2024年6月期	-	17.00	-	-	-
2024年6月期(予想)	-	-	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年7月29日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っており、2023年6月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,941	17.3	2,261	△29.0	2,087	△41.1	1,419	△40.6	181.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	8,063,384株	2023年6月期	6,735,210株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	91株	2023年6月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	7,719,960株	2023年6月期3Q	6,735,210株

(注)当社は、2023年7月29日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績の状況の概要は次のとおりです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、他国との金利差による円安の進行が継続し、インバウンド需要等に回復の兆候がある一方、輸入する資源・エネルギー価格の高騰の反動により、国民の消費意欲は依然として低いまま推移し、不透明な状況が続いています。

当社グループの主な事業地域である東南アジアでは堅調なサービス需要による景気の持ち直しが一定の落ち着きを見せる中、不安定な世界情勢等に起因するインフレーションやその対策として各国が政策金利の引き締めを継続していることなどから、各国の経済情勢に注視が必要な状況となっています。

当社グループの事業におきましては、近年、サーモン相場の高騰が継続している状況にあり、サーモンの取扱割合の大きい国内の養殖事業や海外加工事業はこの相場高騰が売上の押上げ要因となっています。一方で、魚卵相場については昨年調整局面に入っており、これが魚卵を取り扱う国内加工事業の売上押下げ要因となっているという状況です。

また、当社グループの事業は相場の上昇局面では利益率が拡大、下降局面では利益率が縮小する傾向があります。前連結会計年度はサーモン、魚卵ともに相場上昇局面にありましたが、当第3四半期連結累計期間についてはサーモンは高値継続、魚卵は相場下降局面という状況です。加えて、昨今の各種コストの上昇やヒト・モノへの投資拡大の影響もあって、いずれの事業も利益率は前連結会計年度より縮小する結果となっています。

上記の結果、相場の上昇局面であった前第3四半期連結累計期間の利益水準は下回ったものの、売上高は22,848百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は1,830百万円(前年同期比34.6%減)、経常利益は2,041百万円(前年同期比32.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,374百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(養殖事業)

国内においては、前連結会計年度からの繰越在庫の販売が進み、売上・利益を押し上げました。海外においては、水揚げ時期を迎えましたが、販売時期の遅れ等により養殖魚販売数量が減少したこと、魚卵の販売価格の低下、また養殖コストの増加により後述の生物資産公正価値評価益が減少するなどし、養殖事業全体として利益は減少いたしました。

以上の結果として、売上高は3,709百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は593百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

なお、養殖事業には国際財務報告基準(IFRS)を採用する海外子会社が含まれている関係上、養殖事業の損益には、IAS第41号「農業」に従った売却コスト控除後の公正価値により評価した結果(売上原価△196百万円)が含まれております。当該影響を除いた損益状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

売上高		3,709
営業費用	材料費、人件費、販管費等	3,312
	小計(公正価値評価損益を除いたセグメント損益)	397
営業費用	公正価値評価損益	196
	合計(セグメント損益)	593

(国内加工事業)

近年、主力製品であるいくら、筋子について相場高騰が続いていましたが、前連結会計年度下期より市中在庫が増加するとともに価格調整局面に入っており、その状況は依然として継続しています。このため、高価格帯のいくらについては主力製品の販売が減少する結果となりました。また当事業は原料仕入時期と製品販売時期に一定のタイムラグが生じるため、価格下落局面においては一時的に利益率が低下する傾向があります。秋シーズンの魚卵新物仕入れにより総平均単価は低下しましたが、同タイムラグによる利益率低下効果の方が大きく、前期比では粗利率が低下しました。

以上の結果として、売上高は6,334百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント利益は900百万円(前年同期比33.7%減)となりました。

(海外加工事業)

世界的にサーモン相場の高騰が続くなか、国内・海外ともに販売は好調に推移いたしました。一方で、生食用サーモンなどでは仕入相場が高騰し、十分な価格転嫁が困難になり利益率は低下しました。

以上の結果として、売上高は11,225百万円(前年同期比22.1%増)、セグメント利益は713百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

(海外卸売事業)

東南アジア諸国では、外食業向け販売の拡大傾向は継続しており、海外卸売事業の主な取引先である日本食レストラン等の進出も増加傾向となっています。これらの需要拡大を背景に事業拡大に努めた結果、売上については引き続き堅調に推移いたしました。一方で、事業強化・拡大に向けてヒトやモノへの投資を増やしており、それに伴い人件費、倉庫費用、償却費等が増加した結果、利益率は低下いたしました。

以上の結果として、売上高は6,301百万円(前年同期比18.0%増)、セグメント利益は196百万円(前年同期比56.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の財政状態の状況の概要は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は32,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,194百万円増加いたしました。主な要因としては、東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う増資や国内加工事業における魚卵の仕入に向けた運転資金を借入したことにより現金及び預金が4,393百万円増加したこと、国内加工事業において魚卵の仕入が完了したこと等により原材料及び貯蔵品が2,511百万円増加したこと、養殖事業において、国内子会社で養殖魚の育成が進んでいること等により仕掛品が1,201百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は9,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,746百万円増加いたしました。主な要因としては、青森県東津軽郡今別町における養殖用設備への投資等により建物及び構築物が693百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、総資産は42,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,941百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は22,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,495百万円増加いたしました。主な要因としては、運転資金として短期借入金が6,405百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,000百万円増加いたしました。主な要因としては、設備投資資金として長期借入金が599百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、負債合計は28,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,495百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,446百万円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う増資及びその後の新株予約権の権利行使等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ998百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,374百万円計上したこと等により利益剰余金が1,177百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,062	6,456
売掛金	3,235	3,722
商品及び製品	6,403	7,316
仕掛品	1,138	2,339
原材料及び貯蔵品	7,243	9,754
未収入金	1,912	2,500
その他	585	687
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,581	32,776
固定資産		
有形固定資産	7,049	8,803
無形固定資産	66	67
投資その他の資産	414	405
固定資産合計	7,529	9,276
資産合計	30,111	42,053
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,067	1,823
短期借入金	10,132	16,538
1年内返済予定の長期借入金	814	953
未払法人税等	549	191
賞与引当金	-	45
有償支給取引に係る負債	1,886	2,474
その他	988	907
流動負債合計	15,439	22,935
固定負債		
長期借入金	3,422	4,021
退職給付に係る負債	131	129
役員退職慰労引当金	328	-
その他	822	1,553
固定負債合計	4,703	5,703
負債合計	20,143	28,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	90	1,088
資本剰余金	1,698	2,697
利益剰余金	8,102	9,279
自己株式	-	△0
株主資本合計	9,890	13,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△7
為替換算調整勘定	81	356
その他の包括利益累計額合計	77	349
純資産合計	9,968	13,414
負債純資産合計	30,111	42,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	20,855	22,848
売上原価	15,466	18,260
売上総利益	5,388	4,587
販売費及び一般管理費	2,589	2,756
営業利益	2,799	1,830
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	5	12
為替差益	105	142
補助金収入	156	129
その他	74	132
営業外収益合計	342	417
営業外費用		
支払利息	106	140
株式交付費	-	13
棚卸資産廃棄損	-	42
その他	2	10
営業外費用合計	108	207
経常利益	3,033	2,041
特別利益		
受取保険金	220	-
特別利益合計	220	-
特別損失		
災害による損失	260	-
災害損失引当金繰入額	56	-
特別損失合計	317	-
税金等調整前四半期純利益	2,937	2,041
法人税、住民税及び事業税	818	652
法人税等調整額	55	14
法人税等合計	873	666
四半期純利益	2,063	1,374
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,063	1,374

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	2,063	1,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△3
為替換算調整勘定	80	274
その他の包括利益合計	83	271
四半期包括利益	2,146	1,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,146	1,645
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

当社は、2023年9月27日付で東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年9月26日を払込期日とする有償一般募集増資(ブックビルディング方式による募集)による新株式1,050,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ815百万円増加しております。

また、第2四半期連結会計期間において、2023年10月24日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式157,500株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ122百万円増加し、2023年10月27日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式12,014株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ16百万円増加しております。

さらに、第2四半期連結会計期間における新株予約権(ストック・オプション)の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ35百万円増加、当第3四半期連結会計期間における新株予約権(ストック・オプション)の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ8百万円増加し、この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,088百万円、資本剰余金が2,697百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,050	6,450	7,014	5,340	20,855	-	20,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,201	478	2,179	-	3,859	△3,859	-
計	3,252	6,928	9,193	5,340	24,715	△3,859	20,855
セグメント利益	762	1,359	818	452	3,392	△592	2,799

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が△182百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△409百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,445	5,944	8,157	6,301	22,848	-	22,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,264	390	3,068	-	4,723	△4,723	-
計	3,709	6,334	11,225	6,301	27,571	△4,723	22,848
セグメント利益	593	900	713	196	2,404	△573	1,830

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が△53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	1,571	6,767	8,142	52	16,533	△2,914	13,618
アジア	28	34	2,429	5,411	7,904	△2,347	5,557
その他	1,652	127	-	27	1,806	△127	1,679
調整額(注)	△1,201	△478	△3,558	△150	△5,389	△5,389	-
顧客との契約から生じる収益	2,050	6,450	7,014	5,340	20,855	-	20,855
外部顧客への売上高	2,050	6,450	7,014	5,340	20,855	-	20,855

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	1,697	6,050	9,301	-	17,049	△2,825	14,224
アジア	64	125	3,306	6,312	9,809	△3,132	6,676
その他	1,947	158	-	-	2,106	△158	1,947
調整額(注)	△1,264	△390	△4,450	△11	△6,116	△6,116	-
顧客との契約から生じる収益	2,445	5,944	8,157	6,301	22,848	-	22,848
外部顧客への売上高	2,445	5,944	8,157	6,301	22,848	-	22,848

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。